たんごちゃんだより

令和８年９月30日　京丹後市立丹後こども園
0772-75-8030

朝夕が涼しくなり、戸外での遊びをたっぷり楽しめる季節がやってきました。固定遊具に挑戦したり、運動用具を園庭に運んでチャレンジしたりなど、自分で「やってみよう」と思うものを選んで楽しんでいます。年上の友達の姿を見て、同じようにやってみたくなる姿が見られたり、真剣勝負の場面で涙を浮かべ心の葛藤を経験したり、様々な体験から、心も体も成長しています。

9月は発熱などの体調不良が多く心配しましたが、少しずつ元気になってきました。手洗い・うがいの励行、気温の変化に注意しながら健康に過ごし、秋の訪れを感じてたっぷり楽しみたいと思います。



【丹後こども園　テーマ】
あそぼう！　みんな　だいすき💛たんごのわ
～一人ひとりが自分らしく輝き　育ち合えるこども園をめざして～

2日	金	園開放　（園庭開放は運動会前日準備のため行いません）
3日	土	運動会（3.4.5 歳児）　※雨天：遊戯室
5日	月	おはなし会（読み聞かせボランティア）
6日	火	避難訓練
8日	木	秋の遠足（2.3.4.5 歳児）
9 日	金	発育測定（3.4.5歳児）
13日	火	丹後学園あいさつ運動　　発育測定（0.1.2 歳児）
14日	水	中学生福祉体験 am
15日	木	中学生福祉体験 am
16日	金	誕生会　園開放・園庭開放
19日	月	なかよし交流会（5歳児）
21日	水	保育参観（0.1.2歳児） 午後の予定です。詳しくは後日お知らせします。
28日	水	就学時健診pm（5歳児）
30日	金	布団・着替え袋・くつ・上履き持ち帰り

〈10月のねらい〉
・身近な秋の自然に触れ、思いきり体を動かして遊ぶことを楽しむ。

運動会（3.4.5歳児）
10月3日（土）9:15～
温かいメッセージのご協力、ありがとうございます。

～11月行事予定～
4日（水）am
祖父母参観（3.4.5歳児）
11 日（水）
保護者会行事

5歳児　就学時健診
28日（水）13:15～受付
弥栄地域公民館にて
就学前の大事な健診です。
必ず都合をつけて受診してください。

～おねがいとお知らせ～

✿衣替えについて
・10月より天候や気温に合わせて制服を着用してください。（名札もつけましょう）
・朝夕涼しくなってきましたが、体を動かして遊びますので、厚着にならないようにしてください。制服で調節しましょう。
・上履きを草履から靴に替えてください。登園も靴でお願いします。（準備が出来次第でかまいません）
✿散歩に出かける機会が増えます。園庭靴のサイズ確認をお願いします。
✿午睡について
・掛け布団については様子を見て持ってきてください。5歳児の午睡は10月30日（金）で終了します。※土曜午後保育を利用される方は、その都度布団を持参してください。

保護者の皆様
ご協力ありがとうございました！
園庭除草作業をお世話になり、園庭がとても気持ちよくなりました。
遊具の周りも歩きやすくなり、0歳児から園庭で安全に遊べそうです。
保護者会役員の皆さん、たくさんの草を運んでいただきまして、ありがとうございました。

丹後町文化祭作品展

１１月　１日（日）～　３日（火）
丹後地域公民館に、３.４.５歳児の作品を展示します。どうぞご家族お揃いで、ご覧ください。

☆なかよし交流会　（5歳児）☆　　10月19日（月）
バスで丹後小学校へ行き、1年生と交流します。
当日までに、一緒に遊びたいこと、聞きたいことなど動画を送り合っての交流を重ねています。
動画で顔見知りの1年生を見て、昨年のそら組のことも思い出し、会話がふくらみ、期待感も大きくなりつつあります。

保護者による体操教室

5歳児保護者による跳び箱、側転、バク転などを見せていただきました。「準備運動はどうして必要か」「跳び箱はまず両足を揃えて跳ぶこと」など教えていただき、体験もさせていただきました。また、友達（ライバル）と一緒に繰り返し挑戦する大切さについてもお話していただきました。5歳児の心が揺さぶられる時間となりました。





思い出して･･･やってみた！（にじ組）

「つな引きがやりたい！」
昨年、園庭の真ん中で年上の友達が、綱引きをしていたことを思い出したにじ組。
「今年こそ、自分たちもやってみたい！」
早速、そら組さんにお願いして、やり方を教わりました。2つのチームに分かれることが必要だとわかると、「私はこっち」「僕はこっち」と好きな方へ分かれました。 さあ！やってみよう！



何度も繰り返す中で、引っ張って楽しむだけではなく、勝ち負けがあることを知りました。そして、「勝ちたい」という思いも湧いてきました。「どうして負けたの？」「どうやったら勝つの？」そこから、子ども達の頭はフル回転！
負けたチームが、「だって、そっち（相手）のチームの方が、ようけおるもん」と、2チームの人数に差があることを見つけ、人数合わせをする必要があることに気付きました。





人数を数える子、多い･少ないがわかると「じゃあ、私そっちに行ってあげる」「僕も」と、人数を合わせようと動く子、など自分の思いや考えを言葉や行動で表しながら、試行錯誤を繰り返しています。
このように子ども達は、つな引きの遊びの中で、体を動かすことや力を合わせることだけではなく、多い･少ないを知ること、数を数えること、勝敗の経験からの心の葛藤、など様々な学びがあり、子ども同士のつながりの中で育ち合っています。